



町章
1月1日現在の天王町
本籍数 3,988
本籍人口 14,046
世帯数 2,694
住民登録人口 13,064
内 男 6,478
女 6,586

うのんのてん報

第23号 昭和41年2月1日発行

発行所
秋田県天王町役場
(天王局 1番42番 135番)

編集
天王町役場総務課

印刷
一日市印刷所
電話 38番

盛んに模擬町議会



模 擬 議 会 天 小 図 書 室

青年、婦人議員ハツスル

青年、婦人が議員となり、日常生活の問題点についてそれぞれの

決 議

- ◇農工一体の新産都市実現を期す
- ◇農業構造改善事業を推進し、農家経済の安定を期す
- ◇町中央公民館の早期建設を期す
- ◇町社会教育問題の指導強化を期す
- ◇八郎潟中央干拓地へ本町から大量の入植を期す

立場から町当局者と意見をおかわす「模擬町議会」が去る一月十七日天王小学校で開かれた。

青年、婦人の政治意識を昂めるとともに、町政へ自分たちの声を反映させてゆくのねらいで、こととして三回目。青年会、婦人会、農協青年部、婦人部それに各種の学級などがタイアップして開催、当局者を向うにまわして、七時間にわたり活発に討議を行なった。本会議は午前九時半に開会、町長が町行政全般にわたって施政方針を演説。三浦吉雄、吉田新悦、

真壁キヤさんの三人が一般質問を行なった。ついで委員会審議に移り、文教社会、産業土木、総務財政の三分野で町長ら当局側と細部のな話し合いを開始。

午後再開本会議では、真壁キヤ、鈴木久米雄、桜庭東洋さんの三常任委員長が委員会審議の結果を報告。これに対する質問などをしたあと、五つの決議をして四時過ぎ第三回模擬町議会を閉会した。

席上当局側は次のような答弁をした。(要旨)

一、本県の新産都市計画はク農工一体という言葉で表現されているが、農工一体といつても大きな問題点を含んでおり、あくまでも本町の実情に合わせ、慎重に対策を講じる方針である。一、八郎潟干拓地がモデル農村化する日も近いが、必然的に既存農家とのあいだに格差の生じてくるのが予想され、既存農家の振興策は積極的になたなければならないと思っている。

一、中央公民館建設については、本町の社会教育振興に大きな必要性を持つている。しかし、建設費用、用地などのメドがつかず、町民の要望にこたえられない状態である。今後熱意をもつて早期実現に努力したい。

一、町行政の運営にあたっては、計画性を持つて各種事業の実施に当たり、諸経費の節約、赤字財政解消に力を入れては、これら年度予算については、これらの点を充分考慮して予算編成を行なう方針だ。

町長と語る日

町では役場内にある町長室を開放し、みなさんの町民室として広くご利用いただくことになりました。現在町民室では、毎週月曜日(祭日の場合は翌日)の午前十時から午後三時まで「心配ごと相談室」を開設。専任の相談員が親身になつて、みなさんの心配ごとや困りごとの相談に応じています。さらに、ことしから「町長と語る日」も設け、町政に関するみなさんのご意見を町長が直接聞いて行政施策の参考にします。毎月十日(十日が日曜、祭日の場合は二十日)の午前九時から正午までです。話し合いを希望される方は、問題の大小にかかわらずお気軽においでください。

× × × × × × × × × ×

当日の模擬議会議員はつぎの二十六名(◎は議長、○は副議長)
桜庭東洋、宇佐美ミエ、鈴木久米雄、加藤ナカ、三浦吉雄、桜庭ミキ、塚本玲子、菊地政春、菊地麗子、桜庭三郎、桜庭クニ子、加賀谷久治郎、桜庭アヤエ、吉田新一山寺歌子、米谷克雄、真壁キヤ、山田香子、菅生喜作、○桜庭テツ菊地孝太郎、吉田新悦、小玉好美、島崎節子、笹淵海紀男、◎児玉長榮

活動する公民館

第一回公民館大会開く

最近の社会情勢は激化の一途をたどり、家庭のピンントをゆがめる材料が日毎に多くなつてゐる。そこで、健全な家庭をきずく努力がより必要視され、社会の中へ適格に焦点を合わせて種々の問題をつかみ、それに対応してゆく学習が要望されてくる。

公民館では①豊かで楽しい家庭をきずき②明るく住みよい社会をつくる——という二大目標のもとに社会教育を推進、活発な館活動を行なつてゐる。

人づくり、町づくりをになうのが住民に浸透した公民館活動であり、生活のピンントを得るカギや足

二十歳の意見

新時代に自覚と希望を持つて

終戦つ子成人にかける町の期待は大きい。本格的に大型機械が入郎潟干拓地を耕やす日も、新産都市建設のツチ音が響く日も、もはや小さな季節の山脈を越すだけだ。激変する社会の波にのつて、町も急速な新陳代謝を余儀なくされ、若人のエネルギーが大きく要求される。町でもことは、公民館活動に「はたち学級」を新設し若人の社会教育を推し進めようとする。

場を固めてゆくものが、これらの中に秘められてゐるといつても過言ではないだろう。

町公民館は先月の十五日、全町公民館大会を開催。追分、大崎、蒲沼の各分館、生活学校(二田住宅)の事例発表や、分科会に別かれての「住民生活に密着した館活動」の進め方を話し合い、さらに四十年年度をもとにした四十一年度の活動方針について意見をかわした。

町民の公民館活動に対する関心も年々高まつており、全町民一体の活動がますます期待される。

とには責任を持たなくてはなりません。人間生存において成人を迎えるということは非常に重要な意義をもつてゐると思ひます。

いままでは、両親の心暖まる保護のもとで育つてきたが、これからは一人のおとなとして、人生を自分自身でできり開いてゆかねばなりません。

広義においては、今後の日本を背負つてゆくものは私たち若人であり、狭義にはこれからの天王町を背負つてゆくのも若人です。とくに新産業都市指定ともなう天王町は、今後ますますしい発展を上げることでしよう。その発展への原動力となるべきものは、私たち若人ではないだろうか。

成人を迎えた感激をいつまでも胸に秘めて、厳しいであろうこれからの長い人生を、一人の国民として、さらに一人の人間として生き抜いてゆきたいと思ひます。

はずかしくない

江川 伊藤 繁美

成人になるといふことは——日本を背負つて立つにふさわしい人間になることである——私はこう思つてゐる。

日本国民の理想と情熱は、平和国家、民主主義国家の建設に集中されなければならない。

これが達成のために国民各自は身体を健全にし、豊かな教養を身につけ、自主的であると共に協力的に行動する、高度の文化人たるべき責任がある。両親、恩師、友人、私たち成人を迎えたものがいよ

いよ知性をみがき、身体を練つて世界のどこへ出てははずかしくない民主主義的常識を備えて、平和国家日本を再建しようではありませんか。

今までと違う自分に

羽立 鈴木美智恵

もう二十歳だ。「あなたは今成人になる資格などありませんよ」だけれかにそういわれてゐるような気がする。

中卒後すぐ就職し、おとなの世界に触れた時、とてもゆかつかつたのを忘れない。自分で考へていた世界とはあまりにも違つていたからだ。しかし、私はいまからその中に含まれるが、少し複雑な気持ちを感じるが、ようやくおとなの世界を納得できる時期がきたようである。

これからは、自分だけの尺度で物事をはからず、広い視野をもつて、多少なりとも物事を批判できるようにな心を養ひ、いままでの自分と違う意味の自分を育てたい。

私は、成人の日一人自分に誓つた——言動に責任を持ち、他人のしあわせを喜び、不幸を悲しんでやれるようなおとなになるよう努力することを——。

努力で真価を

天王 柏崎 祥子

成人を迎えた喜び——それは、私にとつては過去二十年にかいこ(邂逅)した人々への、感謝の念であると表現した方がびつたりすると思う。両親、恩師、友人、それに書物の中の人物、この人た

ちとの出あいにより、私は生きられたといつても過言ではない。成人といふ第二の誕生を迎え、いままで以上に人生を真剣に思索し、その価値を求めなくてはならないと自覚してゐる。その道は変化に富み、矛盾もはらんでゐることだろうが……

だが、それらの中に、尊く真価を宿しているもののあることを私は信じてゐる。そして、それを獲得しうるカギは「努力」によつてのみあることを、いままた認識したいものである。

人と人とのつながりの中で大きく育ち得たこの感動を、今度はまわりに同じく生き抜く人々への働きかけや役立ちによつて、自己の生をまつとうしたい覚悟である。

これからは積極さ

二田 福田千鶴子

ある本にこんなことが書いてあつた。「はたちという年齢は、その人の大切な時期。この時期に何か一つ深いものをしつかり身につけること。それが自己の内容を充実させてゆくことになる」と……

はたちになつたからとて、急にすべてが変るわけではないけれどこれからは、積極的に自分の目で耳で、心で何事も会得したい。今までのようにぼんやりしてはいられない気持ちです。何かはりつめたようなこの気持ちを大切に、よく遊び、よく学び、夢と希望をもつて過し「あたりまえのこと」になりたい。

14日から納税相談

ことしも「納税相談が実施されます。これは四十一年度の住民税、事業税、所得税について、納税者みなさんの指導と納税相談にあたるものです。相談会場はいずれも町役場となっております。お気軽においでください。

必ず申告を

◇町民税相談

例年のように申告をしても申しなくてもという考えではなく、全世界帯必ず申告してください。不申告者については、基礎控除、扶養控除以外の控除は認めず、更生決定をすることもあります。

相談日程はつきのとおり。

- 二月
- 14日 天王一区、四区。 15日 天王五区、八区。 16日 天王九区、十一区。 17日 江川一区、二区。 18日 江川三区、四区。 19日 児玉。 21日 塩口。 22日 羽立一区、二区。 23日 羽立三区、四区。 24日 中羽立。

天春来

追分西 渡部 六愁

ソリ渡る永久橋は村に一本
美しき灯は滝に映ゆ竜神堂
冬時雨漬物も大きな家
冬の雲海へまばらに陽を落し
三十三体石仏の丘春立ちぬ
石仏の貌それぞれに野の立春
白魚の数少なになり湯明くる
浅春の光あつめて農衣縫ふ

- 25日 渋谷。 26日 細谷、蒲沼
- 出戸開拓。 28日 大崎一区、二区、五区。
- 三月
- 1日 大崎三区、四区。 2日 下出戸。 3日 上出戸。 4日 二田一区、七区。 5日 北野
- 追分西、牛坂。 7日 追分。
- 8日 二田八区、十二区。

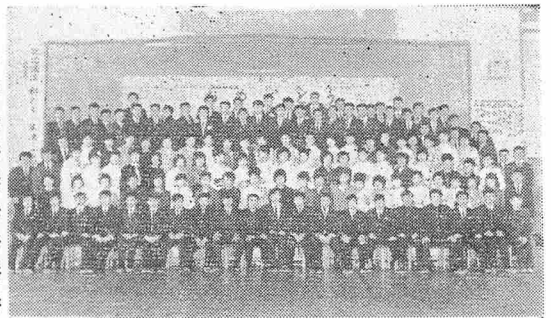
※時間は二月十九日、二十六日三月五日の各土曜日が午前九時から正午まで。他は午前九時から午後三時までです。

◇住民税、事業税、所得税共同相談

三月九日午前九時～午後三時。所得税の確定申告期限は三月十五日までとなっております。この期限内に申告しないと各種の控除が認められなくなるほか、無申告加算税を余分に納めることにもなります。

◇住民税、事業税共同相談

三月十、十一日の両日午前九時から午後三時までです。



終戦つ子のおとなに

◇新成人の門出を祝う「天王町成人式」が一月五日、盛大に行なわれた。ことしから「学校時代の同級生がそろって成人の喜びを」と学齢制を採用。昨年より四十三名多い二百二十四名がこの日を迎えた。

雨もようもなんのそのと、二十歳の自覚に胸をはりながら百四十名が会場の天王小学校に集った。式典は午前十時から始まり、まず、二百二十四名の成人者名を確認。続いて藤原町長が「いまは町内外において多事多難なときであるが、本町の百年の計をたてる好機のとぎでもある」とのべ、さら

最後に成人者を代表し、田仲誠一君(天王)が「これからは責任ある行動をとって、社会発展のためにがんばります」と二十歳の決意を力強くのべ、十一時過ぎ式典を閉じた。式典後、佐々木大治氏(県中学校長会長)の「私たちの生活と言葉」についての記念講演などがあつた。

出ぞめ式で晴れの表彰

恒例の消防出ぞめ式は、一月八日天中体育館で行なわれ、八十一名が晴れの表彰を受けた。

◎県知事表彰

▽有功章 柏崎金石エ門(第二分団長)。▽三十年勤続章 伊藤春蔵(第三分団長)。▽二十五年勤続章 菊地貞蔵(副団長)。

藤原国雄(第三分団班長)。菊地政雄(第四分団長)。菊地徳治郎(第四分団) 菊地基太郎(同)。

安田善太郎(第六分団長)。桜庭喜八郎(第七分団長)。佐々木幸蔵(第八分団長)。▽二十年勤続章 安田鶴之助(第六分団)。

安田徳蔵(同)。

▽十五年勤続章 上村藤吉(第一分団) 他七名。▽十年勤続章 船山毅(第一分団) 他二十名。

◎男鹿・南秋支部長表彰

▽七年勤続章 越後茂雄(第二分団) 他十四名。

◎男鹿分会長表彰

▽五年勤続章 渋谷信一(第三分団)。

◎男鹿・南秋支部長感謝状

▽一般功労者 江川戸主会長 伊藤信雄(江川) 上出戸戸主会長 鎌田東治郎(蒲沼) 菅原興太(細谷) 柏崎佐吉郎(天王)。

◎天王町長感謝状

天王郵便局長 三浦四男(大崎)。

◎天王町長表彰

高桑謹治(天王) 他五名 松村政雄(第一分団) 他十名。



学級生を募集

天王町公民館では、四十一年度から開く、働く女性教室とはち学級の学級生を募集しています。

◎働く女性教室(五十名)

1 対象 官公庁、団体などに勤務する三十才までの女性

2 内容 社会のしくみや新しい女性の生き方など、働く女性のねがいを解決するようなもの。

3 時間 三十時間、年七回程度(土、日曜日に開設予定)

◎はたち学級(五十名)

1 対象 ことし成人式を終えた青年男女

2 内容 新しい時代に生きる青年の豊かな教養をやしな

私は昭和五年のうまでです。うまという動物は、一般に力が強くしゅん(駿)足です。しかしまた、一見とらえどころのない面(つら)をした動物です。

々馬耳東風々々馬の耳に念仏々々と申します。が、これを善恵に解釈すれば細事に動ぜざる大物のようにもとれます。しかししよせんはネコに小判ぐらいの意味でしょう。弥次馬(やじうま)馬鹿(うましか)?とみてきてもウマが優秀であるという表現には出あいがなく、先の解釈は馬の大欲目に過ぎないようです。

でも、うまにもよいところはあ

うまは騎手次第

天王 米谷隆二

いまや世は不況のドン底。佐藤首相閣下、公債発行を含む閣下の手綱(たずな)さばきに国民は注目しています。時はあたご披露(ひろう)する絶好のチャンスですぞ。

りますよ。内田百閒さんによれば々夫婦はうまと騎手に似たり々です。名騎手さえ得れば、うまはもちまへの力を充分発揮します。たくましい力、敏速な足。うまがその本領を發揮しえないのは、騎手の責任です。われわれうま連が、常によりよき騎手を求めてやまぬニエソである。

(男鹿信用組合天王支店長)

うようなもの
3 時間 三十時間、年七回程度(土、日曜日に開設予定)

◎申込み 二月二十一日までに住所、氏名、生年月日を記入して公民館事務局(役場内)へ。

二月一日から七日までは「成人病予防週間」。この週間中(六日の日曜日を除く)本町の広瀬、藤原両医院のご厚意により、午前九時から正午まで、同医院で成人病(ガン、高血圧など)の無料相談を行ないます。

★成人病無料相談★

現在死亡順位の第一位を占め私たちの健康上無関心でおられません。この機会にぜひ相談をお受けください。

婦人学級生大会

町公民館主催により、全町婦人学級生大会を実施します。

◎とき 二月二十日(日)午前十時~午後三時

◎ところ 天王小学校図書室

◎内容 生活を高める婦人の学習活動について

(1)講義 講師 県社教主事 大里操氏

(2)発表(予定) 追分家庭教育学級、二田住宅団地生活学校、二田つくし会

天王婦人学級

(3)話し合い 家庭生活、子どもの教育、学

慶弔欄

十二月中に婚姻届のあつた方

(○印は戸籍の筆頭者)

二下新 〇眞壁 政士

上出戸 〇菊地 金蔵

土崎港 〇平沢 鶴子

下出戸 〇加賀谷 明美

静岡県 〇松浦 恵子

〇佐々木 悦郎

〇小野 葉子

〇藤由 美子

〇工藤 美子

〇佐々木 重久

〇児玉 ヤス

〇桜原 エミ子

〇菅原 専治

〇佐藤 真義

〇鈴木 正子

〇児玉 順二

〇戸島 千鶴子

〇渡辺 広子

〇橋本 子

追分 〇西 越

級運営の三分科会で行なう。レクリエーション町体育指導員の指導で、民謡おどり、フォークダンスを行なう。

◎申込み 各学級で参加希望者を取りまとめて、二月十八日までに、公民館事務局に申込みしてください。

◎昼食、筆記用具およびスリッパをご持参ください。

〇松本 幸蔵
〇菅原 花江
〇沼田 優五郎
〇三浦 秀男
〇松淵 三子
〇榎庭 マサ子
〇浅井 満
〇岩手 伊藤 勲
〇越後谷 ユキ
〇安田 全一
〇伊藤 栄子
〇菊池 イク子
〇船木 カヲ子
〇小玉 勇雄
〇佐藤 ノリ子
〇吉田 兼昭
〇菅原 清光
〇安藤 弘三郎
〇佐藤 謙三郎
〇鈴木 カツ子
〇戸田 秋子
〇菅原 富雄
〇片村 邦子



十二月中に死亡届のあつた方

江川 伊藤 ミサ(80才)
羽立 安田 亥之助(67才)
天王 児玉 金作(56才)
不動台 渋谷 金蔵(70才)
二田 加藤 妙子(0才)

十二月中に出生届のあつたもの
男 五名、女 十二名、計 十七名

保母試験
四十年保母試験が実施されました。受付は二月十日~二十八日。くわしいことは役場民生係へ。

〇桜庭 フキ子
〇船橋 フキ子
〇沢井 一男
〇佐々木 照子
〇安田 清治郎
〇渡部 タエ
〇柏谷 猛
〇安東 笑子
〇海山 紀子
〇菅原 紀子
〇馬場 金吾
〇鈴木 ニミ子
〇横黒 純治
〇石黒 純子
〇鈴木 良明
〇安田 ハルミ
〇井上 美智子
〇佐々木 義春
〇森下 幸茂
〇吉田 則子
〇米谷 勉
〇懸田 光子
〇根 セイ子
〇安田 巳代蔵
〇田口 千代
〇西村 弘光
〇安田 キヨ